

TPP 環太平洋戦略的経済連携協定

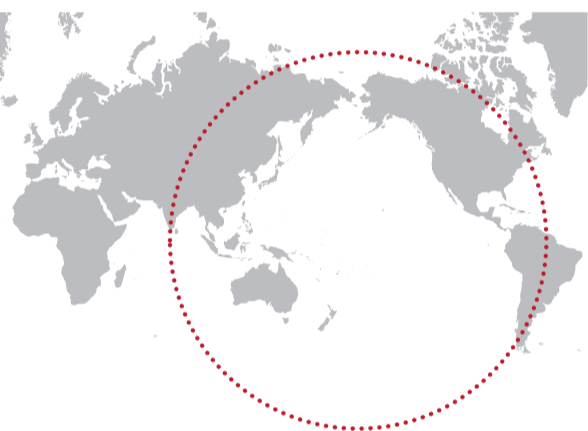
国会で批准を行わないよう要請すべき

政府は、今国会で、TPP協定批准を強行しようとしています。

まつざき県議は、三反園知事に、TPPが本県に与える影響についての認識を問い、全国32の道県でおこなっているように、**本県独自の影響額の試算を行うべき**、そして、**批准を行わないよう要請すべき**と迫りました。

知事は、本県の基幹産業である農畜産業への影響を懸念しながらも、県独自に影響への試算を行うには時間がかかるという答弁でした。また、国会での批准については、これまでも関係団体と連携し、国に働きかけてきており、今後とも情勢を注視していくという答弁でした。

今議会の最終日に、**共産党県議団と県民連合と共同で「TPP協定を今国会で拙速に批准しないことを求める意見書(案)」を提案**しましたが、自民党、公明党などが反対し、賛成少数で、否決されました。(各会派等の態度は4面を参照ください。)



平和と基地

馬毛島、鹿屋自衛隊基地の米軍訓練に反対すべき



鹿児島県では、馬毛島に**米軍FCLP訓練**(空母艦載機離着陸訓練)、海上自衛隊鹿屋航空基地では、**米軍空中給油機、オスプレイの訓練**が行われる計画です。また、奄美市と瀬戸内町には、陸上自衛隊の**警備部隊を配備し、地对空ミサイル、地对艦ミサイル、弾薬庫、燃料施設、訓練場が整備される**計画です。南西地域における防衛体制を強化するという政府の方針のもと、**県土、県民が危険にさらされる可能性が高まっている**ことについての知事の認識をたずねました。

知事は、防衛・安全保障政策は、国の専管事項であるが、地域住民の間に、事故の危険性の増大や騒音、治安に対する不安や懸念が生じることに對して、説明責任を果たし、地域住民の意向を十分に踏まえて対応すべき、という答弁でした。



県立短大のあり方

県立短大の4年制化で、人材育成を

知事のマニフェストには、「**県立短大のあり方を検討**します」というものがあります。9月議会の一般質問では、まつざき県議を含めて4人の議員が、**県立短大の4年制化**について取り上げました。現時点では、4年制化は考えていないという答弁でした。

鹿児島では、女子を県外に進学させることに抵抗があるのか、**女子の進学率は、全国平均が47.4%であるのに対して、鹿児島県は、29.2%と全国最低**となっています。

まつざき県議は、男子も女子も、持てる力を十分に発揮できる環境を作ることが大切であり、**県立であれば、学費も私立よりも低く抑えることができ、県が直接授業料の減免制度を設けることもでき、安心して学べる環境を作ることができる**ことから、**県立4年制大学を要望**しました。



出水市立中学校のいじめ問題

第三者委員会を設置し、調査を行うよう市教委へ指導を

夏休み明けに増える子どもの自殺を防ごうという呼びかけが、様々な団体や個人から発信されました。

5年前の9月1日未明、出水市の中学2年生の女子生徒が、新幹線の線路に飛び込み亡くなりました。遺族の要望に応え、アンケートが取られました。市教育委員会は、アンケートを開示しないまま、**「事故の直接のきっかけとなる出来事は確認できなかった。」**という結論を出しました。

今年の1月に、裁判の判決によって、アンケートが一部開示となったことから、まつざき県議は、アンケートの中に、**具体的にいじめがあったことを証言している内容を示し、第三者委員会を設置し、調査を行うよう市教育委員会に指導**することを強く求めました。

しかし、県教育委員会としては、出水市教育委員会による判断だとし、それ以上の言及をしませんでした。



女性の副知事誕生

三反園知事の公約に掲げられていた女性副知事について、最終日に提案され、小林洋子氏の選任が同意されました。



※写真(10/8付、南日本新聞より)

プロフィールは次の通りです。
小林洋子(こばやしやまこ)氏
1966年生まれ(50歳)。奈良県出身。京都大学法学部卒業。
1988年労働省入省。小松市助役、内閣府男女共同参画局推進課長、厚生労働省雇用均等・児童家庭局雇用均等政策課長などを歴任。現在、厚生労働省参事官。

企画建設委員会では

鹿児島本港区の県営駐車場の料金が高すぎる?!

まつざき県議のもとに、屋久島登山に来られた県外の方から、メールが届き、「登山後、戻ってきたら、5日間で7,000円近くの駐車料金で驚いた。他の県外の登山者から法外な駐車料金であると知らされてはいたが、実際に利用して、その法外な料金にびっくりした。」という内容でした。まつざき県議は、以前にもこの問題を取り上げ、一部値下げを実現していましたが、まだまだ高い料金です。

三島・十島航路や種子・屋久航路など、観光振興や県民の負担軽減のためにも、船舶を利用した証明があれば、駐車料金を減額する仕組みの導入を求めました。

現在の料金体系	
1時間まで	無料
1時間～6時間まで	1時間 200円
6時間～12時間まで	1時間 100円
12時間～	1時間 50円 これが、ずっと続く

※16時間～24時間の8時間分は 無料(400円分)